

## 新型コロナウイルス感染症クラスター終息のご報告とお詫びについて

平素より、社会福祉法人男鹿更生会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。感染対策及び予防の徹底を行い、利用者・職員の全員が3回目のワクチン接種を受けていましたが、令和4年5月12日（木）夜間、残念ながら障害者支援施設玉の池荘男性利用者1名が新型コロナウイルスに感染したことが判明し、翌日から感染者が増えてクラスターとなり、結果として男性利用者36名・女性利用者21名、職員11名計68名の方々が感染いたしました。

一日も早い終息に向けて、5月18日より秋田県コロナ医療支援チーム（ACOMAT）の医師団による計11回の訪問指導及び対策会議での助言や、感染認定看護師等の指導を受け対応に尽力してまいりました。

また、陽性の利用者の方々には経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ）を処方いただき、重症化することなく徐々に回復され、6月11日をもって利用者全員が療養解除となりましたことをご報告させていただきます。

この度は、ご利用者様、ご家族の皆様、関係各所の皆様に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

また長期間にわたり、秋田中央保健所及び秋田県コロナ医療支援チーム等の指示指導の下適切な対応の実施を進めることができましたことに深く感謝を申し上げます。

今まで以上に職員一同、コロナ禍において利用者の方々が安心・安全で、かつ生き生きした生活・活動・施設運営に精進してまいりますので、今後ともご指導とご鞭撻の程をよろしくお願い致します。